

春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

1 『ほんもの』に触れました。

運動会后、『ほんもの』に触れる機会が2つありました。1つは全校児童を対象とした「スクールコンサート」(5/29)です。もう1つは6年生を対象とした「義足体験授業」(6/14)です。

「スクールコンサート」では、村上三弦道をお招きし、津軽三味線の演奏を味わいました。村上三弦道とは、「日本の伝統音楽を通じて、暮らしと人生に夢を、そして心豊かな人づくりを」をモットーに津軽三味線を普及されている団体です。次世代を担う子どもたちに、豊かな感性を育ててほしいという願いを持ち、学校での演奏も積極的に取り組まれています。子どもたちは、運動会で疲れた心や体を癒し、日本の伝統音楽を堪能していました。感心したのは、演奏者のリクエストに、子どもたちは臆することなく対応し、共にコンサートを盛り上げたことです。代表で踊ったり、演奏したりする子どもたちの勇気は素晴らしかったです。(村上三弦道のHPに、当日の様子が掲載されています。)



<代表で踊る子どもたち>

「スポーツ義足体験授業」では、パラ陸上第一人者 池田樹生選手をお招きし、障がいがありながらもスポーツに挑む素晴らしさを実感しました。池田選手は、生まれた時から右膝下と右腕の肘から先に障がいがあり、義足をつけて陸上競技をはじめ、400メートルの日本記録を持つアスリートです。子どもたちに、夢の大切さやパラスポーツの魅力を伝えたいと、学校での体験授業にも取り組まれています。子どもたちは、実際に「観る」「体験する」「学ぶ」ことを通して、障がいのある方の気持ちに寄り添い、考え方を深めたり、夢をかなえる努力の大切さを実感したりしていました。ここで学んだことが、学校リーダーとしての言動にも活かされることを確信しています。

今後こうした機会(チャンス)があれば、積極的に応募し、子どもの心に刺激を与えていきます。



<話に関き入る子どもたち>

2 「子どもを事故から守る協議会」に参加して。

18日(火)、「子どもを事故から守る協議会」が開催され、PTA生活指導担当副会長さんと共に出席しました。佐世保署及び教育委員会から、今年度生じた交通事故や生活事故等の紹介がありました。その中で、保護者のバイクに同乗した子どもが、車と衝突し被害にあうという事案が心に残りました。幸いにも、この子どもは、バイクが転倒したにもかかわらず、ヘルメットの着用とバイク用のシートベルトをしていたため、擦過傷ですんだとのことでした。

事故は、どうしても生じてしまうことがあります。保護者(大人)として、**万が一に備えて、どれだけ安全性を高めるかが大切**になります。この保護者がバイク用のシートベルトを装備して同乗する子どもの安全性を高めていることは素晴らしいことと思いました。私自身、車に同乗させる時、助手席には気を配っていましたが、後部座席のシートベルト着用は、それほど気がけていなかったことを反省しました。



皆さんにおかれましても、次のことにご留意され、**保護者(大人)として、安全性を高め、子どもを事故から守りましょう。**

- 自家用車等に同乗させる際は、シートベルトやチャイルドシートを確実に着用させましょう。
- 自転車に乗る際は、**必ずヘルメット**を着用するように指導しましょう。
- 自転車も歩行者を傷つける可能性があることを指導しましょう。



3 「人権啓発講演会」のお知らせ

元春日小校長 塩田先生(現教育集会所)からの紹介です。※どなたでも参加できます。

- 7月4日(木) 10:00~11:30 佐世保市教育集会所(瀬戸越3丁目17-2)
- 「一生勉強! 一生感動! ~あなたの優しい微笑みが社会をつなげる~」
・吉松眞理子氏(長崎市教育委員・NPOおなかの赤ちゃんヘルプライン理事)

4 「あいさつ標語」を紹介します。Part 2

親子で話題にされ、あいさつへの意識が継続できることを願っています。



- あいさつに 笑顔を添えて パワーアップ (4年 N親子)
- あいさつは 心ぼかばか いい気持ち (1年、4年 T親子)
- おはようと 言えばそこから 友だちよ (1年、4年 N親子)
- 友達と 笑顔であいさつ 楽しいな (1年、4年 Y親子)
- おはようと 毎日言って 名人だ (1年、4年 T親子)

..... 切り取り

※ ご意見、ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。